

一般社団法人日本老年歯科医学会 平成 27 年度第 7 回理事会・第 2 回常任理事会議事録

日 時：平成 27 年 12 月 10 日（木）15：00～17：30

場 所：日本歯科大学生命歯学部 2 階 第 1 会議室

出 席：櫻井 薫理事長、羽村 章、下山和弘 両副理事長

佐藤裕二、水口俊介、深山治久、那須郁夫、菊谷 武、市川哲雄、菅 武雄、小野高裕
河相安彦、眞木吉信、武井典子、井上農夫男、渡邊 裕、平野浩彦、米山武義、森戸光彦
山根源之 各理事

工藤逸郎、渡邊郁馬 各監事

上田貴之、下平 修、高橋賢晃、飯田良平、伊藤誠康、大神浩一郎、高橋一也、森田一彦、
北原和樹、大渡凡人、潮田高志 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

十分な審議をお願いしたい旨、挨拶があった。

III. 議長選出

定款に則り櫻井理事長が選出された。

IV. 確認事項

1. 定足数の確認〔定款第 32 条、理事現在数（27 名）の 2 分の 1 以上の出席〕

佐藤理事より、20 名の出席があり定足数を満たしている事が確認された。

2. 配付資料の確認

3. 平成 27 年度第 3 回理事会・第 1 回常任理事会議事録（P. 1-4）

4. 平成 27 年度第 4 回理事会議事録（P. 5-7）

5. 平成 27 年度第 5 回理事会議事録（P. 8）

6. 平成 27 年度第 6 回理事会議事録（P. 9-10）

櫻井理事長より、平成 27 年度第 3 回理事会・第 1 回常任理事会議事録、第 4 回理事会議事録、
第 5 回理事会議事録、第 6 回理事会議事録の提示があり、確認を行った。

V. 協議事項

1. 新規入会者の承認について（P. 11-13）

新規入会者 135 名について承認された。

2. 常任理事会の整備について／定款細則の一部改正（P. 14-15）

佐藤総務より常任理事会に関する規程上の根拠と本会における運用について説明があり、承認された。
平成 28 年 6 月 18 日より施行する。

3. 法人運営委員会規程の廃止について（P. 15）

佐藤理事より常任理事会の運用開始にあたり法人運営委員会の廃止について説明があり、承認された。
平成 28 年 6 月 18 日をもって法人運営委員会規程を廃止する。

4. 専門医・認定医制度指導医の認定について（P. 16）

櫻井理事長より 11 月 1 日に実施された専門医試験結果の報告説明があり、承認された。

5. 専門医制度施行細則の改正について（P. 17-23）

井上理事より開業している歯科医師の専門医認定へのロードマップについて説明があり、承認された。
また、専門医・認定医の申請資格に関する施行細則の改正の提案があり、認定制度委員会に一任することとなった。

6. 優秀学会論文賞の見直しについて／表彰制度規程の一部改正（P. 24-26）

櫻井理事長、佐藤理事、那須理事より優秀学会論文賞見直しの経緯と老年歯科医学賞（渡邊郁馬賞）
の創設にあたる趣旨について説明があり、承認された。また、渡邊監事より老年歯科医学賞（渡邊郁
馬賞）創設の経緯が述べられた。

7. 渡邊郁馬記念基金の創設について（P. 27）

那須理事より基金設立の経緯と運用について説明があり、承認された。

8. 大会実施に関する規則の一部改正について (P. 28-30)
佐藤理事より学生(大学院生を除く)の参加費を大会長一任とする旨の説明があり、承認された。
9. 臨床・疫学研究に係る業務に関する細則及び手順書について (P. 31-39) (別添資料 1)
森戸理事より細則と手順書の内容と運用に関する説明があり、承認された。
10. 倫理委員会規程の一部改正について (P. 40)
森戸理事より倫理委員会の審議事項と業務に関する説明があり、承認された。また、平成 27 年 12 月 10 日から施行の旨、確認された。
11. 倫理審査委員会規程の一部改正について (P. 41-42)
森戸理事より倫理審査委員会の組織と秘密の保持の条項について説明があり、承認された。また、平成 27 年 12 月 10 日から施行の旨、確認された。
12. 第 29 回学術大会以降の大会長について (P. 43)
櫻井理事長より、第 29 回学術大会大会長に佐藤理事を指名する旨、提案があり、承認された。また、東京での開催が確認された。

VI. 報告事項

1. 会務報告 (櫻井理事長)
活発な委員会活動や盛会裏に終わった第 26 回学術大会に対する謝辞が述べられた。また、「老年歯科医学」の出版、教育基準のHP掲載、口腔機能低下症に関する研究、学術用語辞典編集の進捗状況、HPの更新、支部組織の充実、舌圧計の保険導入について報告があった。
2. 総務報告 (佐藤理事) (P. 44) (委員会資料参照)
活動状況、会員数動向、認定制度認定医数・専門医数および指導医数、摂食機能療法専門歯科医師数について報告があった。
3. 編集報告 (深山理事) (委員会資料参照)
活動内容、学会誌発刊状況について報告があった。また、安定した投稿に対する謝辞が述べられた。
4. 学術報告
 - 1) 学術委員会報告 (水口理事) (委員会資料参照)
活動状況と第 27 回学術大会での企画、次年度社員総会までの活動計画について報告があった。
 - 2) 第 26 回学術大会決算報告 (那須理事、羽村大会長) (P. 45)
学術大会の収支について報告があった。
 - 3) 第 27 回学術大会 (市川大会長) (P. 46-61)
学術大会の概要について報告があった。また、演題募集が開始されている旨、案内があった。
 - 4) 第 28 回学術大会 (櫻井大会長)
日本老年学会加盟 7 学会および日本在宅医療学会の合同開催であり、15 の合同プログラムを予定している旨、オーラルヘルスおよび後期高齢者についてのプログラムに関して責任学会となる旨、報告があった。
 - 5) 平成 26・27 年度日本歯科医学会プロジェクト研究実施報告
平野理事より、高齢者における口腔機能評価法について検討している旨、報告があった。
5. 財務報告 (P. 62) (委員会資料参照)
那須理事より直近の収支状況について説明があり、概ね順調に推移している旨、報告があった。年度末にあたり、予算執行を適切に行うよう各理事に対して説明があった。次年度繰越金の有効利用について法人運営委員会に一任することとなった。また、マイナンバー制度施行に伴う注意点や支部助成金のあり方について補足説明があった。
6. 各種委員会報告 (委員会資料参照)
 - 1) 法人運営委員会 (櫻井委員長)
特になし。
 - 2) 教育問題検討委員会 (柿木委員長)
代理として佐藤理事より、活動内容と今後の予定について報告があった。
 - 3) 社会保険委員会 (菊谷委員長)
新規技術提案書(「摂食機能療法」「舌圧検査」「デンチャーマーキング」など)の提出、医療技術評価提案書(「(歯冠修復)充填」)についての日本歯科保存学会との共同提案を追認、日本歯科医学会WSなどの報告があった。

- 4) ガイドライン委員会（市川委員長）
「認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方」に関するガイドライン作成の進捗状況、および今後の活動計画について報告があった。
- 5) 在宅歯科医療等検討委員会（菅委員長）
口腔咽頭吸引の術式に関するコンセンサスを委員会で統一し、第27回学術大会でマニュアルを出版できるよう調整中である旨、報告があった。
- 6) 摂食嚥下リハビリテーション委員会（植田委員長）
代理として佐藤理事より、活動内容と今後の予定について報告があった。
- 7) 国際渉外委員会（小野委員長）
大韓老年歯科医学会と調整できず、第27回学術大会では台湾との二国間国際シンポジウムとなる旨、報告があった。
- 8) 広報・研修委員会（河相委員長）
ニューズレター発刊状況および活発なHP更新について報告があった。今後は研修運用事業を検討する予定である。
- 9) 学術用語委員会（眞木委員長）
用語辞典の内容紹介があった。また、会員数の増加にあわせ発刊部数を3500部とし、平成28年3月末発刊の旨、報告があった。学会誌投稿には学術用語を用いることが確認された。
- 10) 歯科衛生士関連委員会（武井委員長）
平成27年度認定歯科衛生士認定審査結果、第27回学術大会での企画について報告があった。
- 11) 認定制度委員会（井上委員長）（別添資料2）
- 12) 認定資格検討委員会（井上委員長）
- 13) 研修機関認定委員会（井上委員長）
11) 12) 13) の委員会について一括報告。活動実績、研修機関に常勤ではない開業医の専門医取得が可能となるように、専門医研修機関における研修期間に関する細則の改正と専門医研修カリキュラムの策定、第27回学術大会での指導医講習会実施について報告があった。
専門医研修カリキュラムについて、「老年歯科医学 教育基準」との摺り合わせを実施することを確認した。
- 14) 認定試験実施委員会（小正委員長）
代理として高橋幹事より、活動内容と実績について報告があった。
- 15) 専門医試験問題作成委員会（皆木委員長）
代理として佐藤理事より、試験参考書として新たに「老年歯科医学」を追加する旨、報告があった。井上理事、櫻井理事長より、参考資料としては量が多くなったので今後見直してはどうか意見が出された。
- 16) 多職種連携委員会（渡邊委員長）
要介護高齢者に対する口腔・栄養管理に関するマニュアルとガイドラインの作成を行っている旨、報告があった。これに関し、CQ収集などの協力要請があった。
- 17) 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会（平野委員長）
支部長不在の支部について、今後は周辺の地区との連携を含めて働きかける旨、平成27年度支部長会開催内容についてなどの報告があった。
- 18) 学会間連携委員会（高井委員長）
代理として佐藤理事より、日本口腔インプラント学会、日本補綴歯科学会と連携しての「高齢者施設におけるインプラントの実態調査」の進捗状況について報告があった。
- 19) 表彰委員会（米山委員長）
優秀学会論文賞を見直した結果として老年歯科医学賞（渡邊郁馬賞）が創設された旨、優秀奨励論文賞（ライオンアワード）を応募制とした旨、優秀ポスター賞に3部門を設け審査方法を見直した旨、報告があった。
- 20) 規程委員会（又賀委員長）
代理として佐藤理事より、活動報告と今後の予定について報告があった。
- 21) 倫理委員会（角委員長）
代理として羽村副理事長より、活動状況についての報告があった。

22) 倫理審査委員会（森戸委員長）

「臨床・疫学研究に係る業務に関する細則及び手順書」が本理事会で承認された旨、報告があった。

23) 利益相反委員会（山根委員長）

第 26 回学術大会にて、利益相反ありとの業者からの申告が 1 件あった旨、報告された。また、C O I 申告書の提出方法を統一し、自著した書類を PDF で学術大会準備委員会にメール送信することが確認された。保管は、学会事務局とする。

24) 選挙管理委員会（外木委員長）

代理として櫻井理事長より委員会メンバーの報告があり、佐藤理事よりスケジュールなどの説明があった。

7. 日本歯科医学会報告（櫻井理事長）

1) 日本歯科医学会連合設立に向けた準備金の支払い（P. 63-64）

2) その他

日本歯科医学会連合の概要について説明があり、設立のための準備金を支払う予定である旨、日本歯科医師会から助成金の交付がある旨、報告があった。

8. 日本歯学系学会協議会報告（羽村理事）（P. 65-67）

歯学協関連講演会の案内があった。また、次期理事選挙の被選挙人候補者について、法人運営委員会は羽村副理事長を推薦した旨、報告があった。

9. 歯学系学会社会保険委員会連合報告（佐藤理事）

歯保連試案を作成中である旨、報告があった。

10. 日本老年学会報告（下山理事）（P. 68）

会長候補として佐々木英忠先生（東北大学名誉教授）が推薦され、審議の結果、会長候補推薦委員会では満場一致で賛同が得られた旨、報告があった。開催地は宮城県仙台市となる予定であることが説明された。

11. その他

1) 那須理事より、財務委員会における予算会議の開催に向けて、本年中に来年度の事業提案と委員会運営予算の提示が各理事に求められた。

2) 菅理事より、専門医取得促進のため、手引きの作成や制度の簡素化の要望が出された。これに対し、河相理事、井上理事より、新しいHPでは制度を平易に案内するよう改修した旨、回答があった。また、山根理事より、HPの対応で十分であり、質を担保するためにも制度の変更は必要がない旨、米山理事より、参考書の整理が必要である旨、意見が出された。

3) 平野理事より、認知症施策推進 5 か年計画（オレンジプラン）で歯科医師の臨床対応力向上が求められており、カリキュラム作成などに関し日本歯科医師会から協力要請がある旨、報告があった。

4) 森戸理事より、「老年歯科医学」上梓の関係各位に御礼が述べられた。

5) 武井理事より、日本歯科衛生士会で地域包括ケアシステムに関連した認定歯科衛生士を養成するにあたり、研修会の講師派遣について協力の要請があった。

6) 佐藤理事より、第 29 回学術大会の会期について、日本補綴歯科学会学術大会などと日程が重ならないように調整するとの説明があった。

VII. 閉会の辞

下山副理事長より、スムーズな討議、報告に対する謝意が述べられた。

・参考資料

関係団体担当一覧（P. 69）

支部長一覧（P. 70）